

第 10 回オリザ賞 実施要領

令和 6 年 4 月 17 日
宮城県農業協同組合中央会

1. 趣 旨

オリザ賞は、JA グループが河北新報社創刊 100 周年記念事業「オリザの環（わ）」の企画に賛同し、平成 9 年度に河北新報社及び東北放送の協力を得て創設した表彰事業である。

本県の基幹作物である「コメ」を通じた食と農の担い手として、意欲的な稲作経営・技術改善に取り組み、農業振興・地域活性化に貢献している個人及び団体等に対して表彰するものである。

農業の果たす役割や地域づくりに向けた活動を社会一般へ広く知らしめることで、食料・農業・農村への理解を促進していくことを目的とする。

2. オリザ賞の選考

大賞 1 点、準大賞 2 点 （計 3 点）

3. 主 催

宮城県農業協同組合中央会

4. 共 催

株式会社河北新報社、東北放送株式会社

5. 後 援

宮城県、宮城県生活協同組合連合会

6. 応募資格

- (1) 宮城県内で稲作経営を行っている個人または団体等。
- (2) コメを介して地域住民・消費者等との交流等を通じ、農村・地域の活性化に貢献している個人及び団体等。

※どちらかの応募資格を満たしていること。但し、過去の大賞受賞者は応募できない。

7. 応募期間

令和 6 年 5 月 1 日（水）～ 8 月 30 日（金）（4 か月間）

- (1) 応募締切日：令和 6 年 8 月 30 日（金）
- (2) 受付窓口：県内各 J A
- (3) 応募先：J A 宮城中央会

8. 応募方法

自薦・他薦を問わない。所定の応募用紙に必要事項を記入の上、期限厳守の上、県内JAを經由し事務局（JA宮城中央会）宛に応募するものとする。

9. 審査

（1）審査会・幹事会の構成

①審査会（6名）

学識経験者、宮城県、宮城県生活協同組合連合会、(株)河北新報社、東北放送(株)、宮城県農業協同組合中央会で構成する。

ア.審査会に委員長・副委員長を置く。

イ.審査会の招集は委員長が行い、委員長に事故あるときは、副委員長が職務を代行する。

②幹事会（5名）

宮城県、宮城県生活協同組合連合会、(株)河北新報社、東北放送(株)、宮城県農業協同組合中央会で構成し、審査会の指示により必要な調査、資料収集等を行う。

（2）審査方法及び審査基準

①審査は、一次審査(書類審査)と二次審査(現地審査)で行う。

②審査基準は、次の通りとする。

〈審査基準〉

ア. 稲作を営み、農業が持つ多面的機能が発揮された取り組みとなっている。

イ. 生産・流通・販売・加工等において、農業の成長化・将来性・発展性が期待され、意欲的な経営を行い、高付加価値化・差別化、作業環境・技術改善（ICT、省力化、低コスト、GAP、高品質化）、経済変動への対応等を行っている事例、また、市場動向・消費者ニーズ等に応える取り組みとなっている。※ICT：情報通信技術。この技術を活用したスマート農業など。

ウ. 持続可能な農業を見据えており、「環境保全米づくり」「環境保全型農業」等に取り組んでいる。また、その予定がある。

エ. 次世代対策など、地域農業の持続性と地域活性化に取り組む決意がある。

オ. 農業体験・食育・交流事業等、地域住民・児童・消費者等に対する取り組みは、食料や農業、農村文化に対する理解を深化させ、互いにそれを守り育ていく活動として地域活性化に貢献（地域への波及効果）している。

(3) 審査日程・結果発表（予定）

①一次審査(書類審査):令和6年 9月上旬

②二次審査(現地審査):令和6年 10月中旬

③結果発表 :令和6年 11月1日(金)

※審査結果については、河北新報朝刊、東北放送ニュース、日本農業新聞、J A宮城中央会HP等で発表する。

10. 表 彰

「第41回J A宮城県大会」(12月10日開催)の席上で行い、大賞受賞者には賞状・副賞30万円、準大賞受賞者には賞状・副賞10万円を贈呈する。

11. 広 報

受賞者の優良事例については、(株)河北新報・東北放送(株)をはじめ、J A組合員向け広報紙、ホームページ等で多くの県民に公表し、食料・農業・農村に係る理解醸成と合意形成の取り組みに役立ていくものとする。

12. 事 務 局

宮城県農業協同組合中央会 営農農政部に設置する。

13. そ の 他

(1) 応募用紙、関係資料等は原則、返却しないものとする。

(2) 提出いただいた個人情報、審査・発表・記録等、本要領に記載された項目を実施するために使用し、他の目的では使用しない。

オリザ賞とは

「オリザ」とはラテン語で「稲」の学名。世界24カ国のルポをもとに新しい米づくりの可能性を訴えた河北新報社連載企画「オリザの環(わ)」(創刊100周年記念事業、平成9年度新聞協会賞受賞)の趣旨に賛同する目的で、宮城県農業協同組合中央会が平成9年度に創設した宮城県独自の賞(表彰事業)である。

宮城県の基幹作物である「米」を通じ、農業の振興に大きく貢献した取り組みを発掘し、農業の果たす役割や地域づくりに向けた活動を、社会一般へ紹介し農業への理解を促進することを目的としている。

第10回オリザ賞 審査委員・幹事名簿

令和6年4月9日

1. 審査委員

敬称略

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	東北大学大学院	農学研究科教授	伊藤 房雄	審査委員長
2	宮城県農政部	副 部 長	常 陸 孝 一	
3	宮城県生活協同組合連合会	副 会 長 理 事	河 野 雪 子	
4	(株)河北新報社	代 表 取 締 役 社 長	一 力 雅 彦	審査副委員長
5	東北放送(株)	常 務 取 締 役	岩 城 彰	
6	宮城県農業協同組合中央会	常 務 理 事	高 橋 慎	

計6名

2. 幹事

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	宮 城 県	農政部みやぎ米推進課 環境対策保全班 班 長	佐 伯 研 一	
2	宮城県生活協同組合連合会	常 務 理 事	渡 辺 淳 子	
3	(株)河北新報社	編 集 局 局 長 兼 ニュースセンター長	安 野 賢 吾	
4	東北放送(株)	常 務 取 締 役	岩 城 彰	審査委員兼務
5	宮城県農業協同組合中央会	営 農 農 政 部 長	我 妻 武 昭	

計5名

3. 事務局

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	宮城県農業協同組合中央会	営 農 農 政 部 食の安全・安心推進担当次長	高 橋 敦	
2	宮城県農業協同組合中央会	営 農 農 政 部 農政広報担当統括	山 田 和 弘	

計2名

第 10 回オリザ賞 応募用紙(様式)

令和 6 年 月 日

市町村名		受付 J A 名	(担当部署 : 印)
------	--	----------	---------------

個人名 又は 団体組織 名	(ふりがな)	設立年月日 (取組開始時期)	年 月
------------------------	--------	-------------------	-----

所在地 (ご連絡先)	〒 — 住所・所在地 : TEL (— —) (ふりがな) 代表者名 : (生年月日 : 年 月 日生、年齢 : 歳) 構成員数 : 名		
---------------	---	--	--

(確認事項)

1. ご応募いただいた書類・資料は、原則返却いたしません。
2. 応募用紙内のお名前とご連絡先等の個人情報については、審査・発表・表彰等で使用させていただきます。
3. 団体等の場合、組織内容が理解し得る定款・規約・総会資料・決算書類等を添付してください。
4. 応募用紙に記載いただいた活動内容が明確に理解できる写真・資料等を添付してください。

以上、実施要領および確認事項等を了承の上で応募することに同意します。

令和 6 年 月 日

(代表者自署) _____

1. コメ・稲作農業に対する信条、思い、経営方針、活動目的など

2. 構成員と主な役割、団体等の場合組織体制

(1) 構成員と主な役割

①氏名、②構成員続柄、③年齢、④役割

(2) 組織体制（各部門等）

3. 取り組み内容

(1) 稲作経営の全般的な内容(概略)について、記入ください。

・ 稲作歴、経営面積（受託面積含む）、作付品種、圃場立地条件など

・ 稲作経営の全般的な内容と、その特徴についてご記入ください

(2)生産・流通・販売・加工等において、農業の成長化・将来性・発展性が期待され、意欲的な経営を行い、高付加価値化・差別化、作業環境・技術改善（ICT、省力化、低コスト、GAP、高品質化）、経済変動への対応等を行っている事例、また、市場動向・消費者ニーズ等に応える取り組み等について記入ください。

(3)「環境保全米づくり」、「環境保全型農業」に関する取り組みについて記入ください。
(今後の予定を含む)

(4)次世代対策など、地域農業の持続性と地域活性化への取り組み方針(経営理念等)を記入ください。

--

(5)地域住民・児童・消費者等に対する取り組みの中で、食料や農業、農村文化に対する理解を深化させ、互いにそれを守り育ていく活動として地域活性化に貢献(地域への波及効果)している内容について、記入ください。

--

(6)過去の受賞歴、その他、特筆すべき取り組み等があれば記入してください。(〇年〇月〇〇賞受賞、SDGs、女性の活躍場促進、農福連携、消費者交流、他団体との連携ネットワークなど)

--

4. 過去3カ年の取り組み内容、10年後の見通しを記入ください。(詳細な資料等を添付ください)

年度/区分	経営面積(ha) 販売額(千円)	構成員数(人)	主な作物・交流など
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
10年後の見 通し			